

国立病院機構徳島病院雑誌

(英文名 Journal of Tokushima National Hospital, J Tokus Natl Hosp, JTNH)

■編集委員長 Editor-in-Chief
三ツ井 貴夫 (Takao Mitsui)

■編集委員 Editorial Board
谷口 浩一郎 (Koichiro Taniguchi)
有井 敬治 (Yoshiharu Arii)
十河 秀樹 (Hideki Sogo)
吉田 三紀 (Miki Yoshida)
阿部 正博 (Masahiro Abe)
大久保 民枝 (Tamie Okubo)
掛田 千津子 (Chizuko Kakeda)
島 治伸 (Harunobu Shima)

■投稿規定 (2014年3月1日)

A) 投稿の資格と審査

国立病院機構徳島病院職員の投稿を歓迎するが、部外研究者の投稿も受け入れる。国内外の他雑誌に掲載されていない論文あるいは現在投稿中でない論文に限る。採択された論文においては共著者全員が自筆署名捺印した投稿承諾書の提出が必要となる。Corresponding authorの所属、住所を記入すること。投稿に必要な書類一式は徳島病院臨床研究部 (内部リンク http://www.hosp.go.jp/~tokusimahosp-nho/zasshi_index.html) (メール rinsyou@tokushima-nh.hosp.go.jp) に請求すれば入手できる。国外における研究は、その研究責任者の自筆署名を必要とする。筆頭著者の所属はその研究が行われた施設とする。再投稿論文は3ヵ月以内に送付すること。3ヵ月を経過した論文は初投稿論文として取り扱うこととする。論文掲載にかかる審査は編集委員会会議において行い、文書にて審査結果を連絡する。

B) 紙媒体ならびに電子媒体における個人情報保護

個人情報保護の観点から投稿に際して、徳島病院雑誌ならびにその電子媒体への掲載承諾書、ならびに必要に応じて倫理委員会提出書類と審査結果の写しが必要である。個人情報保護の観点から患者個人の同意書が必要とされるに該当する場合は、掲載同意書 (雛形は徳島病院雑誌の末尾に掲載) を患者個人から得る。また、意識障害や認知症などにより当該個人より同意書を得ることが困難な場合は、適切な代諾者 (配偶者、親、子、後見人など) の同意でもよい。本人が死亡している

場合は遺族の同意書を得ること。

C) 原稿の送り方

投稿原稿は原稿・図表1組を記憶媒体とともに送る。再投稿時に際しても原稿・図表を1組送る。引用文献の中の印刷中 (in press) の論文は全文を添付すること。審査料は原則として無料。

原稿の送り先; 〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地 1354 独立行政法人国立病院機構徳島病院徳島病院雑誌編集委員会

D) 投稿の形式

一般の投稿は総説、短報、原著、症例報告として受け付けるが、その他に提案・試案に関する論文も受け付けるので、原著に準ずる方法で投稿し、そのいずれを希望するかを明記する。

原稿はA4の用紙にプリンターで印字する。行間は5mm以上開ける。本文には頁番号を右肩に印字する。

原稿の構成

原著; 論文要旨/本文/文献/英文抄録/写真/図/表

論文要旨と本文の空白を含めた全文字数を7,000字以内とする。(表紙の連絡表に空白を含めた全文字数を記載する。)

論文要旨は300字以内。引用文献は30以内。写真、図、表は8個以内。英文抄録は500語以内とする。

日本語訳は不要だが、英文 (英文抄録や Figure Legend など) は原則として native speaker によるチェックをうけたものとする。題名は20語以内。題名、所属、所属の宛所、氏名に英訳をつける。

日本語およびそれに対応する英語の key words をそれぞれ5個以内つける。原則として Index Medicus に従う。数字は特別な場合を除きアラビア数字を使用する。

E) 論文の書き方

原稿は英文および和文を受け付ける。英文原著は、要旨 (abstract)、本文、文献の順に書き、空白を含めた全文字数を3,500語以内とし、そのうち要旨は500語以内とする。

日本語論文は、論文要旨と本文の空白を含めた全文字数を2,500語とするが、要旨は英語で150語以内。外国語の固有名詞 (人名、地名) は原語のままアルファベットで表記し、頭文字は大文字とする。ただし、日本語化しているものはなるべく片仮名とする。文中の外国語単語 (病名、一般薬名、その他) の頭文字は、ドイツ語名詞および文頭の場合を除きすべて小文字とする。

タイトルページに標題(和・英文), 著者名(和・英文), 所属(和・英文), 別刷送付先(和・英文)の順に列記する。投稿原稿には, 本文右肩にページ数をふる。

数字は算用数字, 度量衡単位は CGS 単位 (m, cm, cm², l, dl, ml, kg, g, mg, μ g, ng など) を用いる。(ただし, 近い将来に SI 単位に変更される可能性があるので最新の投稿規定を参照すること。) 年号は西暦で統一する。

写真は白黒か。カラーかを指定して投稿する。カラー印刷を希望する場合は実費を徴収する。

図表写真の大きさは手札型以上の大きさで, 鮮明で質の高いものとする。台紙とも 25cm×18cm 以内とし, でき上がり寸法は 1 枚 10cm×7cm を基準とする。したがって 1 頁全体にわたる場合は原稿用紙 6 枚 (2,400 字) として計算する。なお原寸大の製版を必要とする場合はその旨明記する (24cm×16cm を限度とする)。

組織標本には染色法と倍率をつける。MRI には撮像条件を記載する。図の裏に図の番号, 筆頭著者名, 天地の区別を明記する。

患者の身体写真を使用する場合は, 個人を特定できないよう工夫するとともに, 本文中に患者の同意を得ている旨明記すること。なお投稿規定 B) に従うこと。

文献は本文に引用されているもののみをあげ, 引用番号は本文の引用順による。本文中の引用箇所に番号をつける (肩番号の必要はない)。

文献の書き方は下記のようにバンクーバースタイルとし, 欧文雑誌の略名は, 最近の Index Medicus に従う。コンマ, ピリオド, コロンのあとはスペースを半角空ける。

<雑誌> 著者名: 論文題目. 雑誌名 (類似の誌名のあるときは発行地) 西暦発行年; 巻: 起始頁—最終頁

<書籍> 著者名: 書名. 版数, 巻数, 発行所名, 発行地, 西暦発行年, 引用頁
引用文献の著者氏名, 編者氏名は, 4 名以上の場合は最初の 3 名を書き, 他は——ら, または, et al とする。文献の表題は, 副題を含めてフル・タイトルを記す。抄録の引用は表題の最後に (会), 欧文発表の場合は (abstr) とする。

編集書籍は邦文の場合は例 4, 欧文の場合は例 8, 9 に従う。その他, 以下の例に従って誤りないよう注意する。

例 1) 里吉 當二郎: 内分泌障害によるミオパチー. 臨床神経 1961; 1: 439-449

例 2) 清水 潤, 西山和利, 武田浩一ら: 筋生検所見で type II atrophy を認めた進行性半側萎縮症の 1 例(会)。

臨床神経 1991;31:93

例 3) 小川 鼎三: 脳の解剖学. 第 4 版, 南山堂, 東京, 1958, p 94

例 4) 平井俊策: 膠原病に伴うニューロパチー. しびれ, 上田英雄, 武内重五郎, 豊倉康夫 編, 南江堂, 東京, 1981, pp 285-295

例 5) Shy GM, Drager GA: A neurological syndrome associated with orthostatic hypotension. A clinical-pathologic study. Arch Neurol 1960; 2: 511-527

例 6) Mannen T, Iwata M, Toyokura Y, et al: Note on a certain motoneuron group of the sacral cord (Group 'X', Onuf) in ALS and Shy-Drager syndrome (abstr). Excerpta Medica (Int Congr Ser) 1977; no. 427:280

例 7) Merritt HH, Fremond-Smith F: The cerebrospinal fluid. WB Saunders, Philadelphia, 1938, p 94

例 8) Heilman KM, Valenstein E, Watson RT: The neglect syndrome. In Handbook of clinical neurology, ed by Vinken PJ, Bruyn GW, Klawans HL, et al, vol 45, Clinical neuropsychology, Elsevier, Amsterdam, 1985, pp 153-183

例 9) Meldrum BS, Corsellis JAN: Epilepsy. In Greenfield's neuropathology, 4th ed, ed by Adams JH, Corsellis JAN, Duchen LW, Arnold, London, 1984, pp 921-950

F) 掲載

掲載料は規定範囲内のもは無料とする。掲載論文の別刷は有料とする。刷り上がりが一定限度の頁数を超える場合は超過料金を課する。刊行, 図表の引用および転載に関する許可の権限は国立病院機構徳島病院に所属する。掲載論文の抄録部分 (要旨を含む) のデータベースや抄録雑誌への二次的使用ないし転載, および当該論文の複写機器による電子的光学的複写の許諾権は国立病院機構徳島病院に委託されたものとする。またこれによる使用料は国立病院機構徳島病院に帰属するものとする。